

木更津市農業振興アクションプランの変更案 (令和6年度)

木更津市農業振興計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	年 度 別 計 画				
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容					令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
1 地域の特性を活かした安全で多彩な農業生産の推進	地産地消の推進	①道の駅木更津うまぐたの里拡張	農林水産課	地元産農産物の販売機会の拡大と利便性の向上	1	拡充	駐車場拡張に伴う測量及び設計業務を行います。 現状：なし 目標：測量・設計完了 施設拡張に向けた関係機関との協議を行います。 現状：なし 目標：協議完了	駐車場：設計業務 拡張工事 施設：協議完了 実施設計	駐車場：供用開始 施設：増築工事	駐車場：供用 施設：供用開始	供用
		②地産地消推進店の推進	農林水産課	地元農林水産物を購入しやすい店舗の増加と周知	2	拡充	地元農林水産物を取扱う店(小売・飲食店)を「地産地消推進店」として認定し、取扱小売店、飲食店を増やすとともに広く市民に周知を図ります。 推進店数 現状：30店 目標：40店	50店	60店	70店	80店
			農林水産課	地産地消を推進するため、推進店と生産者のマッチングの実施	3	拡充	取扱い品目・量を増やしたい推進店と取引を増やしたい生産者を繋ぐ仕組み作りを行います。 現状：なし 目標：推進店の意向調査の実施	推進店の意向調査に基づく生産団体への働きかけ 取引成立1件	取引成立1件	取引成立1件	取引成立2件
		③学校給食への市内産農産物の活用 の推進	学校給食課	学校給食提供食材の地場産物の利用促進	4	拡充	毎年1月の全国学校給食週間に合わせ実施している近在野菜を使用する取組で、収穫量の確保で使用量とのバランスが安定するように関係者に理解と協力を依頼します。 使用品目数 現状：5品目（キャベツ・大根・人参・白菜・長ねぎ） 目標：6品目（キャベツ・大根・人参・白菜・長ねぎ・ほうれん草）	7品目	8品目	9品目	10品目
			学校給食センター 学校給食課	地産地消の食材を取り入れた献立の充実	5	拡充	地元で生産された食材の優先使用に努め、11月の千産千消デーの取組を給食だよりや掲示物等を活用し情報発信します。 地元生産食材使用率 現状：74.2% 目標：85%以上	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上
		④6次産業化の推進	農林水産課	6次産業化取組者への支援	6	継続	生産から加工、販売まで一体的に行う6次産業化の取組を行う農業者に、関係機関と連携し、情報提供等の支援に取り組みます。 現状：随時 目標：随時	随時	随時	随時	随時

木更津市農業振興計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	年 度 別 計 画				
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容					令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
1 地域の特性を活かした安全で多彩な農業生産の推進	地産地消の推進	④6次産業化の推進	農林水産課 オーガニックシティ推進課	地域農産物のPRや販売促進に繋げるイベントの開催	7	継続	11月3日に行われる「KISARAZU ORGANIC CITY FESTIVAL」にて地域の「食」や「農」をテーマにしたエリアを開催し、広く周知・PRを図り、地域農産物のPRや販売促進に繋がります。 現状：来場者数 25,000人 目標：来場者数 30,000人	33,000人	37,000人	40,000人	43,000人
		⑤優良品種の導入促進	農林水産課	温暖化対応の品種等の啓発	8	継続	関係機関と連携し、気候変動に適応した栽培方法や有望品種の啓発に取り組みます。 現状(R5)：随時 目標(R6)：随時	随時	随時	随時	随時
			農林水産課	米の食味にこだわった木更津産米の食味分析コンクールの開催	9	拡充	本市の基幹作物であるコンクール米の付加価値向上、販路拡大及び消費拡大に向けて、JA木更津市、木更津市農業委員会と連携した木更津産米の食味分析コンクールを開催します。 出品数 現状：129検体 目標：138検体	147検体	156検体	165検体	174検体
	有機農業の推進	①有機農業の推進	農林水産課	学校給食に向けた有機米栽培の拡大	10	拡充	有機米の生産促進・拡大に向け、農業者の取り組みを支援します。 100%達成後にに向けた販路の拡大に向け取り組みます。 有機米生産面積 現状：25ha 目標：33ha	38ha	43ha	48ha	53.2ha
			農林水産課	有機農産物の栽培拡大	11	拡充	有機農産物（ブルーベリー、にんじん等）の生産促進・拡大に向け、農業者の取り組みを支援します。 有機農産物生産面積 現状：16.3ha 目標：18.2ha	20.2ha	22.4ha	24.4ha	26.6ha
		②ちばエコ農産物の推進	農林水産課	農薬や化学肥料を1/2以下に減らした環境にやさしい農業の推進	12	拡充	環境に与える負荷を軽減するため、特別栽培農産物の生産などの取組を関係機関と連携し支援します。 ちばエコ農産物認証件数 現状：24件(26.2ha) 目標：26件(28.4ha)	28件 (30.6ha)	30件 (32.7ha)	32件 (34.9ha)	34件 (37.1ha)
		③堆肥化による循環農業の推進	下水道推進室 農林水産課 資源循環推進課	焼却処分している下水汚泥や剪定枝などの堆肥化	13	新規	下水汚泥や剪定枝などの堆肥化を関係機関と連携し、研究・実用化を目指します。 現状：なし 目標：実用化に向けた研究	試作	実用化	実用	実用

木更津市農業振興計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	年 度 別 計 画				
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容					令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
1 地域の特性を活かした安全で多彩な農業生産の推進	有機農業の推進	④環境の保全	農林水産課	農業用廃プラスチックの適正処理と生分解性マルチフィルムの導入による作業の効率化	14	拡充	農業用廃プラスチックの適正処理の支援を行うとともに農業者の作業の効率化を図る生分解性マルチフィルムの導入費用の補助を行います。 現状：廃プラスチック処理量 8.89t 生分解性マルチ面積 948a 目標：廃プラスチック処理量 9.06t 生分解性マルチ面積 966a	廃プラスチック処理量 9.24t 生分解性マルチ面積 985a	廃プラスチック処理量 9.42t 生分解性マルチ面積 1,004a	廃プラスチック処理量 9.60t 生分解性マルチ面積 1,024a	廃プラスチック処理量 9.79t 生分解性マルチ面積 1,044a
	グリーン・ツーリズムの推進	①観光農園や農作業体験のPR	農林水産課 観光振興課	観光農園施設の整備	15	新規	収穫等の体験農業を実施する農業者（事業者）が行う観光用施設の整備を支援します。 現状：なし 目標：意向確認	実施希望者との調整 随時実施	支援の実施 （1施設） 随時実施	支援の実施 （1施設） 随時実施	支援の実施 （1施設） 随時実施
		②農泊の推進	農林水産課	地域の農業振興と活性化を図るため、農山漁村滞在型旅行（農泊）の実施	16	継続	市内外の都市住民を対象に、農泊を実施します。 農泊実施回数 現状：0回 目標：1回	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年
		③農業体験イベントの推進	農林水産課	消費者である市民が本市農業への理解を深めることができる農業体験の充実	17	新規	本市農業を身近に感じることができる農作業・収穫等の体験イベントを実施します。 イベント数 現状：0回 目標：3回	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年
	情報発信と販売促進	①アグリパーク木更津の推進	農林水産課	都市住民を主な対象とした観光客の誘致を実現するため、本市の体験型農林水産業施設のPR	18	継続	農業・漁業体験を通して、本市への理解が今まで以上に進むよう内容の充実を図るためPRサイトを定期的に更新します。 更新回数 現状：0回 目標：年2回以上	年3回以上	年4回以上	年5回以上	年6回以上
		②特産品の情報発信	農林水産課	木更津市産農産物や加工品の高付加価値化及び農業者や食品関連事業者の競争力を高め、多様な販路の開拓や確保	19	継続	本市産品が本市のみならず首都圏から積極的に選ばれ、購入されるようアグリパーク木更津を活用し情報発信します。 情報発信回数 現状：0回 目標：年2回以上	年3回以上	年4回以上	年5回以上	年6回以上
2 多様な人材の確保・育成	新規就農者の確保・育成体制の構築	①農業支援センターの設立	農林水産課	持続的な農業の推進に繋がる農業支援センターの設立に向けた取り組み	20	新規	業務内容、組織体制、設置場所等についてJA木更津市と協議を進めます。 現状：随時実施 目標：随時実施 関連する事業番号 10. 11. 12. 13. 21. 34. 38. 39. 40	随時実施	設立・運用開始	運 用	運 用

木更津市農業振興計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	年 度 別 計 画				
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容					令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
2 多様な人材の確保・育成	新規就農者の確保・育成体制の構築	②関係機関との連携	農林水産課 農業委員会	千葉県をはじめとする関係機関との連携により、就農準備や受け入れ体制を充実させ、新規就農者の確保	21	拡充	新規就農者の確保を目指します。 新規就農者数（累計） 現状(R5)：25人 目標(R6)：26人	27人 34人	29人 36人	31人 38人	33人 40人
			農林水産課	新規就農者に給付金を支給し、青年就農者の増大	22	拡充	農業を始めてから経営が安定するまで年間最大150万円を支給し、認定新規就農者者の就農定着を図ります。 補助対象者数（累計） 現状(R5)：6人 目標(R6)：7人	8人 (累計)	9人 (累計)	10人 (累計)	11人 (累計)
		③認定農業者の推進	農林水産課	農業経営改善に取り組む「認定農業者制度」の活用推進	23	拡充	認定新規就農者と農業経営改善に取り組む農業者の認定を進めます。 認定農業者数 現状：107人 目標：114人	118人	120人	122人	124人
			農林水産課	関係団体、農水産業者と連携した、生産拡大と品質の向上	24	拡充	生産力強化のために認定農業者等が導入する機械施設等に対し、経費の一部を補助し、園芸産地の育成を図ります。 補助経営体数（累計） 現状(R5)：10経営体（法人4、個人5、組合1） 目標(R6)：11経営体（法人4、個人6、組合1）	10経営体 14経営体 (累計)	15経営体 16経営体 (累計)	20経営体 18経営体 (累計)	25経営体 20経営体 (累計)
			農林水産課		25	拡充	露地野菜等の生産力強化のため、農業者が耕作放棄地を再生し、生産出荷に必要な機械等に対し、経費の一部を補助し、耕作放棄地の再生を図ります。 補助経営体数（累計） ——現状：1経営体（個人1）—— ——目標：3経営体（個人3）——	5経営体 (累計)	7経営体 (累計)	9経営体 (累計)	11経営体 (累計)
			農林水産課		26	拡充	耕作放棄地を再生し、生産規模拡大をめざす農業者等に対し、再生作業に要する経費を支援することで、耕作放棄地の再生に取り組む生産者の確保を図ります。 補助経営体数（累計） 現状(R5)：3経営体（個人3） 目標(R6)：4経営体（個人4）	6経営体	8経営体	10経営体	12経営体
			農林水産課		27	継続	水田農業の安定的な経営の実現による米の需給調整、麦、大豆などの生産振興など木更津市地域農業再生協議会が行う取り組みを支援します。 現状：補助の実施 目標：補助の実施	補助の実施	補助の実施	補助の実施	補助の実施

木更津市農業振興計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	年 度 別 計 画				
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容					令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
2 多様な人材の確保・育成	新規就農者の確保・育成体制の構築	③認定農業者の推進	農林水産課	関係団体、農水産業者と連携した、生産拡大と品質の向上	28	継続	水稲の減収の原因となるいもち病、紋枯病、カメムシ類等の病害虫の一斉駆除を実施する事業主体に補助し、被害の軽減を図り、良質米の生産・経営の安定を図ります。 現状：補助の実施 目標：補助の実施	申請毎に補助の実施	申請毎に補助の実施	申請毎に補助の実施	申請毎に補助の実施
			農林水産課		29	継続	野菜価格の著しい低落時に生産者への補給金を交付し、野菜の再生産を図ります。 対象品目：冬レタス・春レタス（指定産地野菜） 現状：低落時に実施 目標：低落時に実施	低落時に実施	低落時に実施	低落時に実施	低落時に実施
			農林水産課		30	継続	木更津市園芸振興協議会が行う事業の経費の一部を助成し、園芸出荷団体の育成を図ります。 現状：補助の実施 目標：補助の実施	補助の実施 共進会の開催 (年1回)	補助の実施 共進会の開催 (年1回)	補助の実施 共進会の開催 (年1回)	補助の実施 共進会の開催 (年1回)
	企業の農業参入の推進や農福連携	①遊休農地を活用した企業参入の促進	農林水産課 農業委員会	遊休農地を活用し、地域に定着し調和する可能性が高い法人等を中心に、農業法人の参入促進	31	継続	関係課、関係機関との連携による情報の提供等を行います。 現状：随時実施 目標：随時実施	随時実施 企業からの相談毎に実施	随時実施 企業からの相談毎に実施	随時実施 企業からの相談毎に実施	随時実施 企業からの相談毎に実施
		②農福連携の推進	農林水産課	農業経営の発展においても期待できる「農福連携」の推進	32	継続	関係機関との連携による情報の提供等を行います。 現状：随時実施 目標：随時実施	随時実施 相談毎に実施	随時実施 相談毎に実施	随時実施 相談毎に実施	随時実施 相談毎に実施
	経営参画の推進	①家族経営協定・法人化の推進	農林水産課	地域に根差した次代の担い手となる既存の有望若手農業者等の法人化等、更なる経営発展の支援	33	拡充	法人化、家族経営協定の締結を関係機関と連携し、支援します。 現状：随時実施 目標：随時実施	随時実施 相談毎に実施	随時実施 相談毎に実施	随時実施 相談毎に実施	随時実施 相談毎に実施
		②地域に根差した担い手の経営発展の推進	農林水産課	地域に根差した担い手として活躍する中小規模の農業者が、さらに経営発展するために必要な機械・施設等の導入などニーズに合わせた個別支援	34	新規	個別支援に向けた補助事業の創設を検討します。 現状：補助制度なし 目標：検討	検討	実施	実施	実施

木更津市農業振興計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	年 度 別 計 画				
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容					令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
2 多様な人材の確保・育成	経営参画の推進	②地域に根差した担い手の経営発展の推進	農林水産課	農業者の収益の確保と作業負担の軽減に向けたスマート農業の導入支援	35	新規	スマート農業の導入に向けた補助を行います。 現状：0件 目標：5件	10件（累計） 5件（累計）	15件（累計） 7件（累計）	20件（累計） 9件（累計）	25件（累計） 11件（累計）
	子どもたちの「生きる力」を育む食農教育の推進	③食育の推進	学校教育課	自ら栽培したものを調理、食すことにより、「食」に対する意識を高め、「食」に関する正しい知識の習得	36	拡充	小学校3～6年生の総合的な学習の時間に学校支援ボランティア活動推進事業等を活用し、地域と連携した食農教育を進めます。 実施校数 現状：小学校15校 目標：全小学校18校	全18校	全18校	全18校	全18校
3 農地の保全と担い手への集積	地域計画の作成と利用権設定の推進	①地域計画の策定	農林水産課 農業委員会	地域での話し合いにより、地域で目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」の策定	37	拡充	地域での話し合いを行い、令和6年度末までの策定を目指します。 現状：0地域 目標：全地域で策定	全地域で策定済み	全地域で策定済み	全地域で策定済み	全地域で策定済み
		②農用地の集積・集約化の推進	農林水産課 農業委員会	地域計画の実現に向けて、農用地の集約化を進めるため、関係機関と連携し農用地の利用調整につとめ、農地の集積・集約化を進めます	38	拡充	農地中間管理機構を軸としながら、関係機関と連携し農地の集積・集約化を進めます。 利用集積面積 現状：250ha 目標：326.6ha	439.2ha	551.8ha	664.4ha	777ha
	農地と農業機械のマッチングの推進	①農作業受委託の推進	農林水産課	農業者の農作業負担の軽減を目的に、作業受託組織の設立支援	39	継続	JA等の関係機関と連携し、作業受託組織設立を支援します。 現状：なし 目標：支援を実施	支援を実施	支援を実施	支援を実施	支援を実施
		②農業機械のマッチングの推進	農林水産課	利用可能な農業機械を有効活用するため、農業機械のマッチングの検討	40	新規	JA等の関係機関と連携し検討します。 現状：なし 目標：先進地の事例等を検討	実施方法の検討	マッチングの実施	実施	実施
	有害鳥獣対策の推進	①有害鳥獣対策の推進	農林水産課	農作物被害額の減少	41	拡充	野生鳥獣による農作物被害の低減に向け、鳥獣の捕獲駆除、防護柵設置の補助、新たな捕獲従事者となる者の狩猟免許に係る費用の補助などの取組を行います。 現状：15,926千円 目標：13,864千円	12,833千円	11,802千円	10,771千円	9,740千円

木更津市農業振興計画における位置づけ			担当課	目標	番号	区分	年 度 別 計 画				
基本方針	取り組みの方向	具体的な取り組み内容					令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
3 農地の保全と担い手への集積	効率的な営農環境の整備	①土地改良事業の推進	農林水産課	国・県補助の対象とならない小規模な土地改良事業への支援	42	継続	農業施設など地区土地改良事業への支援を行います。 現状：申請毎に予算措置し実施 目標：申請毎に予算措置し実施	申請毎に予算措置し実施	申請毎に予算措置し実施	申請毎に予算措置し実施	申請毎に予算措置し実施
			農林水産課	担い手の育成、優良農地の保全と機能の向上等を旨とする土地改良事業の支援	43	継続	千葉県、土地改良区が事業主体となる事業を支援します。 現状：3事業 目標：4事業	4事業	4事業	4事業	4事業
			農林水産課	生産性の向上と営農の効率化を図るための農道舗装	44	継続	地域からの要望を踏まえ、農道舗装を実施します。 現状：L＝423m 目標：L＝245m	L＝250m	L＝250m	L＝250m	L＝250m
			農林水産課	地区の主要な幹線用排水路の整備による優良農地の保全と農業振興	45	継続	用排水路整備工事を実施します。 現状：3地区L＝130m 目標：3地区L＝141.5m	L＝140m	L＝140m	L＝140m	L＝140m
		②多面的機能の確保	農林水産課	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮	46	継続	地域の共同活動による水路、農道等の保全管理活動を支援します。 現状：21団体 目標：21団体	21団体	21団体	21団体	21団体
			農林水産課	耕作放棄地の発生防止と多面的機能の確保	47	継続	山林地域の農業生産条件の不利を補正するため、集落協定に基づき農道の維持、水路清掃などの共同作業を支援します。 現状：2協定 目標：2協定	2協定	2協定	2協定	2協定
		③災害に強い農業の推進	農林水産課	森林等の安全対策を進めるため、東京電力、地元自治会等関係機関との取り組み	48	継続	森林等の安全対策 現状：1路線 目標：1路線	1路線	1路線	1路線	1路線
			農林水産課	災害時及び満水時における農地及び周辺の湛水被害防止	49	継続	湛水防除施設（3施設）の適切な管理運営により、災害時及び満水時における農地及び周辺の湛水被害防止を図ります。 現状：適切に管理 目標：適切に管理	適切に管理	適切に管理	適切に管理	適切に管理